



# 樹 蔭 静 け

北海道帯広三条高等学校  
〒080-2473  
北海道帯広市西23条南2丁目12番地  
TEL：0155（37）5501  
発行日 令和5年4月26日

## 新たな伝統を築く令和5年度がスタート！



対面式



4月10日、令和5年度入学式が挙行されました。

吹奏楽の演奏をバックに緊張した面持ちで入場した後、一人ずつ呼名された240名は晴れて本校の入学を許可されました。そして、新入生を代表して郷日茉莉さんが、「出会う人たちへの感謝を忘れず一日一日を悔いのないよう精一杯過ごすこと」を力強く宣誓しました。最後に合唱部による校歌紹介で式は終了しました。その後各教室でHRを行った後、クラス毎の記念写真撮影をしました。

翌日には久しぶりの全校生徒そろっての対面式でした。応援団とチアの歓迎を受けながらの入場。校長と生徒会長・鎌田潤音さんの歓迎の挨拶の後、部活動紹介が始まりました。各部がそれぞれ工夫を凝らし、活動内容や部の雰囲気十分伝わったようでした。最後に新入生を代表して平田杏音さんが感謝の言葉とこれからの抱負を述べて終了しました。早速、放課後は部活動見学の生徒で校内は賑わい、活気にあふれていました。

## 令和4年度卒業生の進路結果を振り返って

前回この春の卒業生の進路結果を速報しましたが、その総括を進路指導部長の佐藤明彦教諭にしてもらいました。

令和4年度卒業生の主な進路実績は右の通りです。国公立大学合格者については、1クラス当たりの人数が13.3名と三条高校歴代第3位となり、一般選抜前期での合格率が初めて60%を超えるなど、昨年度に続いて素晴らしい結果となりました。大学入学共通テストの全国平均点の大幅な上昇に対し本校生徒もしっかりと点数を取り切れたこと、生徒自身の綿密な大学調べと教員との連携が上手く機能したこと、さらに最後まで粘り強く個別試験への対策を続けられたことが要因として挙げられます。

新しい大学入試制度も定着し、各大学が学び・研究についてそれぞれの特色をよりはっきりと示すようになってきたように感じます。それを受け一般・学校推薦型・総合型と選抜方法についても、各大学の特色を色濃く反映したものに変わってきています。今年度は道内への進学比率がやや高い結果となりましたが、全国的に視野を広げることでより自分自身に合った大学を探ることができるでしょう。またどの選抜方法においても、高校生活において大学が求める人材にふさわしい実績と学びを経験していること、そして大学生活やその先において具体的かつ意欲的に取り組むビジョンを描けていることが必要不可欠になります。そのためにCプロ（総合的な探究の時間）等を活用し、自らの進路希望に基づく主体的な取り組みを早いうちから継続的に進めていくことが重要です。

【主な大学合格者数】

|      |     |         |     |
|------|-----|---------|-----|
| 北海道大 | 1名  | 琉球大     | 1名  |
| 小樽商大 | 4名  | 札幌医科大   | 2名  |
| 帯広畜大 | 6名  | はこだて未来大 | 2名  |
| 道教育大 | 13名 | 釧路公立大   | 11名 |
| 室蘭工大 | 2名  | 千歳科技大   | 6名  |
| 北見工大 | 2名  | 札幌市立大   | 2名  |
| 弘前大  | 7名  | 名寄市立大   | 6名  |
| 埼玉大  | 1名  | 都留文科大   | 1名  |
| 茨城大  | 2名  | 早稲田大    | 1名  |
| 富山大  | 1名  | 明治大     | 1名  |
| 信州大  | 2名  | 青山学院大   | 1名  |
| 静岡大  | 1名  | 立命館大    | 1名  |

## ◇自分の目標に向かって努力しよう！

3年次主任 伊 藤 智 昭

昨年度に引き続き年次主任です。よろしくお願いします。

今年度は進路決定の年です。いままでは、周りの流れに合わせてなんとなく勉強をやっていたら良かったかもしれませんが、これからは一人ひとりがやらなければならないことが違います。自分のやるべきことを早期に洗い出して、その後は目標に向かって努力を重ねていきましょう。迷っていることや、困ったことがあったときは、担任の先生はもちろんのこと、主任の私や副主任の新明先生、森先生などに相談してください。



## ◇主体的な取組みと体験をサポートします！

2年次主任 橋 本 賢

今年度も年次主任を務めさせていただきます。三条高校のBIGBOSS（三条高校の大きな学年主任）の橋本です。今年度は見学旅行があり、2年次のみなさんと良い思い出が作れることがとても楽しみです。

クラスが変わり、年次担任団のメンバーも変わっていますので不安なことも多いかと思いますが、年次団一同生徒のために一致団結してサポートしていきたいと思います。

今年の目標は生徒一人一人の主体的な取組みと体験をサポートしていくことです。生徒の更なる成長のために今年1年頑張ります。よろしくお願いします。



## ◇新たなスタート！

1年次主任 山 室 浩 二

1年次主任となりました山室です。よろしくお願いします。

4月は節目の時です。新たなことを始めたり、挑戦したりするには良い時だと思います。1年次生は高校生になり不安な気持ちもあるかもしれませんがこの機会を前向きに捉え、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。私自身もみんなと一緒に挑戦し、多くのことに取り組みたいと思っています。

これまでの三条高校の伝統を引き継ぎながらも、より良い三条高校を目指し、みんなが充実した学校生活を送れるよう1年次団の教員、生徒全員で協力したいと思っています。



## インタビュー

三条高校で輝いている生徒を紹介します。

### 高校スピードスケート界を引っ張る二人

きらい

3年6組 河原莉緒 さん 2年3組 小島 楓 さん



インターハイ・スピードスケート1000m優勝の河原莉緒さん、1500m優勝の小島楓さんにお話を伺いました。団体でも学校対抗優勝を飾った二人ですが、河原さんは中学までは全国優勝するような選手ではなかったと言います。「楓をはじめ速い1年生が入ってきて、これ

は負けられないと意識が変わりました」と河原さん。常に小島さんと一緒に練習する一方で、1500mと3000mを得意とする小島さんに対して1000mでは負けられないと頑張ってきたと言います。お互いを意識し、刺激しあいながら向上できているとのことでした。

一方、小島さんは中3の時に全国2冠に輝くなど華々しい活躍をした選手でしたが、本人は「小学から中学にかけては地元の少年団でひたすら練習していて、それがとてもきつくて、なぜ続けているんだろうと思ったこともありましたが、でも高校進学の際にやっぱり自分にとってスケートは楽しいものだとはっきりわかって、三条でスケートをすることを決めました」と振り返ります。二人とも三条の練習は、後藤先生の指導に全幅の信頼を寄せていますが、その中でも「自

分で考えてやることが多い」と言います。二人で切磋琢磨して練習に励み、目指すは世界。河原さんは今年の目標を「世界で活躍すること」ときっぱり。小島さんも世界で戦うことをあげつつ「自己ベストを出すために何ができるのかを意識高く考えられる選手になりたいです」と言っていました。

こうしてスケートで世界に羽ばたこうとする二人ですが、それ以外の生活を聞いてみると、河原さんは「食べるのが好きで、特に辛いものが大好き！」と某ラーメン店を勧めてくれました。小島さんは家に帰ると漫画の誘惑に耐えられないそうで、今は『メジャー』にはまっているとか。好きなものを話す姿は当たり前ですが普通の高校生です。高校生活は二人とも「楽しい！」と声を揃え、友達との会話や学校祭などの行事がとても楽しいとのこと。河原さんは「修学旅行は飛行機の中から楽しめました」と満面の笑顔。

後輩たちにメッセージを願うと、河原さんは「もちろん部活と勉強の両立は大変だけど、それを乗り越えようと頑張った分、楽しみも大きいと思うので、楽しむときは楽しむというメリハリをつけて生活したいと思います！」。小島さんは「去年是一年あつという間だったので、一日一日を大切に過ごしてほしいな、というか自分がそうしたいです」と笑って答えてくれました。

二人の世界での活躍を期待しています！

